

依存症について

「依存症」とは、物質使用や特定の行為をくり返すことで、それが身体的・精神的になくなってはならない状態になり、自分ではコントロールできなくなった結果、自身を傷つけ、周囲を巻き込むなど、社会活動が困難になる問題。依存対象は様々で、物質（アルコール、薬物など）、行為（ギャンブル、インターネットゲーム、買い物など）、人間関係（異性、DV、共依存）などに分類されます。依存症は、正しいケアとサポートを受けることで、かつて自身が望んでいた生き方や、それ以上の生き方ができるようになります。また問題行動によって壊れてしまった家族や周囲の方との人間関係も修復でき、社会復帰を果たすことも可能です。

依存症の種類と対象

※依存の種類が1つだけとは限らず、図の円が重なるように、2つ3つと複数の依存が合併する場合もあり、クロスアディクションと呼ばれる場合があります。

物質依存

アルコール、薬物（覚せい剤・大麻などの違法薬物、処方薬）、タバコなど

行為依存

ギャンブル、買い物、インターネットゲーム、性行為など

人間関係依存

異性、DV、共依存など

ご家族が依存症で困っていたら迷わずご相談ください。きっと回復の道筋が見えるでしょう。

薬物、アルコール、ギャンブルによって、またにも生活ができなくなり人生を破壊する依存症は、中学、高校生くらいから始まることもあります。放っておくと、限界に至るまでやめることができず、最悪の場合には、死に至ることも少なくないのです。本人が自ら依存症を克服しようと思っても、実際には自分だけの力で抜け出すことはとても難しいのです。依存症からの回復には、ご家族の助けが必要です。経験豊富な私たちがサポートします。ぜひ、ご相談ください。

依存症は自力ではなく、専門プログラムで継続的な回復を行う「解決策」があります。

依存症は一度その状態になってしまうと、自力で回復することが、非常に困難であると言われています。実際、一人でやめようと試みても、禁断症状や強迫観念から、再び依存対象へと戻ってしまうケースが多くみられています。「解決策」は、専門のプログラムによる継続ケアです。依存症には、身体だけでなく心のケアが必要。専門のプログラムは、依存へと逆戻りさせる力を乗り越えるための、新しい生き方を提供します。

その結果、依存から脱却のみならず、新しい人生を切り開くチャンスも生まれるのです。依存症には「解決策」があるのです。



Question & Answer

Q1 依存症の症状はどんなものですか？

A1 アルコールや薬物、インターネットやギャンブル、スマホなど、原因はさまざまです。何か特定のものが無いというよりは、不安になる、そういう症状が現れます。つねに原因となるものと精神が安定しないので、摂取する量が増えたり、行為がやめられなくなったりします。急にヒステリックになる、手が震える、金銭の使い方が荒くなる、家族や仕事上の約束が守られなくなるなどの症状がありましたら、一度、「依存症相談ダイヤル(0120-111-351)」までご連絡ください。

Q2 もしかしたら、依存症かもしれない…

A2 ご本人でも、ご家族でも、何かおかしいと感じられることがあります。まずは一度「依存症相談ダイヤル(0120-111-351)」までお電話をください。専門のカウンセラーが、お話を聞かせていただきます。依存症は誰もがなる可能性がある問題です。ひとりで抱え込まないでください。

Q3 施設に興味があるのですが…

A3 ご本人が利用を希望されている場合は、まずは見学にお越しください。また体験入所も可能です。ご本人が依存症を否認し、利用を拒否される場合は「インタベンション」という手段があります。これは専門カウンセラーが、ご本人と家族の間に、回復支援施設へとつなげるお手伝いをすること。私たちは、依存症先進国アメリカで専門トレーニングを受け、日本で「インタベンション」のノウハウを積み上げてきました。

Q4 どのくらいの期間を過ごしますか？

A4 入所時の状態や回復の具合にもよりますが、回復プログラムがスタートしてからおよそ1年半程度が必要です。休学、休職を気にされる方もいらっしゃいますが、依存症も他の病気と同じで、早期であればあるほど回復が期待できます。また、入所以外に週末通所コースを大阪、横浜、名古屋で開催しています。

Q5 男性が一緒に施設は不安です…

A5 ワンネスグループには女性のみの専用施設「Flower Garden」がありますので、安心して回復プログラムを受けることが可能です。女性らしさ、人間らしさを大切にしたい施設です。

Garden 一般社団法人 GARDEN (奈良)
薬物・アルコールなどの依存症治療共同体

Garden 一般社団法人 セレニティパークジャパン (奈良)
キャンセルセンター・ネオゲームセンターとして依存症治療共同体

Flower Garden フラワーガーデン (奈良)
女性専用の依存症や生きづらさなどの治療共同体

Garden 沖縄GARDEN (那覇市)
一般社団法人 セレニティパークジャパン沖縄 (那覇市)
一般社団法人 セレニティパークジャパン (名古屋)
アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体

Garden 一般社団法人 セレニティパークジャパン (南城市)
南城依存症ケアセンター (南城市)
アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体

Garden 一般社団法人 セレニティパークジャパン (那覇市)
一般社団法人 セレニティパークジャパン (名古屋)
アルコール・ギャンブルなどの依存症治療共同体

FIJ 日本フアミオン
本人を助ける治療へ繋げるサポート
依存症家族のための相談窓口

9c インタベンションセンター
本人を助ける治療へ繋げるサポート
依存症家族のための相談窓口

9c 問題ギャンブル対策センター大阪
キャンセル等依存症の理解促進・相談支援

9c 問題ギャンブル対策センター横浜
キャンセル等依存症の理解促進・相談支援



薬物、ギャンブル、アルコール依存症回復のエキスパート
ONENESS GROUP
一般財団法人ワンネスグループ

問題を抱えたご本人・ご家族へ
依存症は回復できます！



依存症で困っていたらぜひ、ご相談ください。
思い悩んでいても、解決しません。
ご安心ください。
依存経験者でもある私たちがサポートします。

依存症でお困りならご相談ください。《受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00》

依存症相談ダイヤル

0120-111-351

LINE公式アカウント開設!!



依存症SOSメール相談 sos@oneness-g.com

ワンネスグループ

検索

依存症でお困りならご相談ください。《受付時間 月曜～金曜 10:00～17:00》

依存症相談ダイヤル

0120-111-351

依存症SOSメール相談 sos@oneness-g.com

LINE公式アカウント開設!!

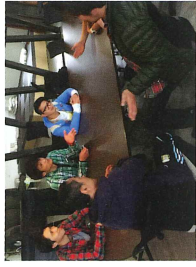


ワンネスグループ

検索

マイナス10からプラス10をめざす 依存症回復のための質の高いサポート

速やかな回復と再発予防によって、社会復帰し、安心して新たな人生を歩めるように。依存症回復のために、心の奥底にアプローチし、全く新しい自分を生きざらるるよう支援します。



依存症は「家族の問題」という見方もあります。本人が回復を始める前・始めた後、家族の再生など、それぞれの時期にどのような本人へ接するのかが学ぶことや、家族自身の内面を見つめるため機会を提供するために、家族会(ワンネスファミリーグループ)やワークショップを開催しています。



伝統のプログラムだけでなく、NLP、コースキームソッドなど最新のプログラムを利用して、依存症そのものを理解し、脱却の手段を学びます。



回復後の就労支援のために、ワンネスの里農園を運営。また、社会復帰のための支援も行っています。



「知ることは防ぐこと、知るとは解決への一歩」として、全国で啓発セミナー、学校・企業講演を実施。
また、無料の電話・メール相談を設け、年間2,000件の相談が寄せられています。

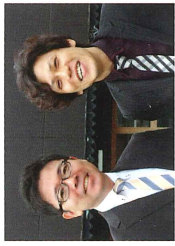


Message

私たちワンネスグループは2005年、奈良にて薬物依存症の回復支援施設として、その歩みをスタートしました。以来、依存症問題を抱えられたご本人、ご家族をサポートさせていただく中で、グループ自体も成長してまいりました。薬物だけでなく、アルコールやギャンブルなど、扱う依存症の種類も増え、国内でも数少ない女性専門支援も充実しています。また奈良だけでなく、名古屋、沖縄にも施設を構え、講演やセミナーなど依存症の理解促進を図る活動は全国に拡がりました。

ワンネスグループで回復の道を歩んだ方が、家庭、職場、地域に戻り、新しい生き方を続けています。なかにはスタッフを志望して、専門資格を取得するなど活躍する者もいます。これこそが私たちが「回復できる」と信じています。依存症は複雑な問題ではありますが、私たちは「回復できる」と信じています。この揺るぎない信念のもと、回復支援や社会復帰支援、予防や再発防止に資する活動を通して、社会のセーフティネットをつくらせていきます。

一般財団法人ワンネスグループ共同代表
(写真右) 伊藤宏基
(写真左) 三宅隆之



The voice of the people

僕はずっと「薬物が無いと生きていけない」「薬物をやめたいなら、死んだ方がいい」と思っていました。今ですと自分のことが大嫌いで、自分は生きていく価値がない人間、こんな自分を愛してくれる人なんて誰一人いないと思いました。けれども施設に入所して、自分のことを愛してくれる人がたくさんいることを知りました。今は本当に生きていてよかったです。施設に来ることができてよかったです、実感する毎日です。(E-san/20代男性)

施設につながるまでの人生は、すべてが逃げてした。処方薬、酒、ショッピング、男性、親に逃げ、現実の自分を見ないようにしてきました。嫌なこと、うまくいかなかったことは、すべて過去のトラウマのせいにしてきました。今、カーテンで、仲間と一緒に付けてもらいたいながら、依存物に逃げずに自分自身と向き合っています。やめる勇気が持てたのは、仲間からの無償の愛があったから。どんな私でも、仲間たちは見捨てることなく寄り添ってくれます。人を信じてみよう、助けを求めてみよう、仲間の愛に守られて、新しい自分に出会えました。(M-san/40代女性)



海外団体との連携で専門カウンセラーを育成

ワンネスグループでは、依存症先進国である欧米やアジア諸国より、良質なプログラムを導入、直接講師をお招きするなどで、世界基準の回復支援を実践しています。回復支援にあたるスタッフは、国際的なカウンセラートレーニングを受けて、日々のカウンセリングやプログラムの向上に励んでいます。ワンネスグループのスタッフは、依存から脱却した自らの経験と、最先端のスキルを活かして、回復支援を行っています。

ICCE

国際アディクション専門職認定教育センター

2009年に国連に準ずる機関「国際アディクション専門職認定部門」として、スリランカで設立。アメリカ國務省の国際薬業・法執行局が運営する世界規模の取り組みにも関わる国際機関です。全米アルコール薬物カウンセラー協会から、全面的な協力を受けています。ワンネスグループは2014年に正式に加盟、グループ創設者は同協会の理事を務めています。また教育プロバイダとしての認証を受け、資格取得を促しています。

NADAI

全米薬物・アルコール・インタベンション協会の

インタベンションとは、依存対象を手放す意志を持たない依存症者とその家族の間に、第三者として入り、回復へつなぐややすき手段。そのコーディネイトをする専門家を「インタベンション」と言い、本アメリカにおいては依存症回復支援の専門職として認知されています。ワンネスグループではNADAIのプログラムを使用して、国内の専門機関としてインタベンションを行うとともに、日本窓口として資格認定プログラムの構築を手がけています。

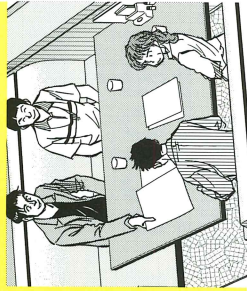
IGCCB

国際問題ギャンブルカウンセラー認定委員会

本部をアメリカワシントンDCに置くIGCCBは、問題ギャンブル(ギャンブル等依存症)を抱える本人とその家族に、回復支援サービスを提供するカウンセラーに対して、資質・能力を認定するためのプログラムと資格を運営。カジノなどギャンブル運営団体とも連携をとり、依存症業界において信頼されています。ワンネスグループはIGCCBの日本窓口であり、プログラムと資格の国内導入、拡大のために活動。IGCCB資格を有するスタッフが在籍しています。

早期発見・対処の鍵 「インタベンション」「ダイバージョン」

「依存症」からの回復のためには、一刻も早く、本人が「依存症」であることを認識し、現状を見つめ直す機会をつくるのが大切です。そのために効果的な方法が「インタベンション(介入)」です。「インタベンション」は、専門のトレーニングを受けたインタベンション(介入)者が本人と直接面会し、家族にかかって、本人に「依存症」であることを認識させ、回復施設での適切なプログラムを受けようとする方法です。ワンネスグループは、インタベンション(介入)の専門機関として米国組織より認定を受けており、また、国内で唯一、国際認定を受けた専門家としてのインタベンション(介入)を行っています。また、触法行為の背景に依存症が疑われる場合、連帯・留置・起訴などをきっかけとして本人を回復の入口へと導く「ダイバージョン」を弁護士との協働により行っています。



(H-san/50代男性)

大学1年からギャンブルを始め、15年近くの間、大きな借金も3度度肩代わりしてもらい、結婚してからも、子どもができてからも、ギャンブルが止まりませんでした。妻がSPJを探し、つくりました。妻が施設に押し込まれ、今なつた時は「俺を施設に押し込まれ、今と恨みました。でも、行かなくなったら、今とはまったく違う世界にあっては良かった。妻には感謝しています。現在、休職してSPJを利用しています。復職を目指して、施設のプロクターががんばっています。(T-san/30代男性)



依存症を抱える家族も安心!!



International Gambling Counselor Certification Board